

【学校の教育目標】

・かしこい子 ・やさしい子 ・たくましい子

【目指す学校像】

学びと笑顔、元気あふれる学校



【3つのキーワード】

重なるの協調 柔軟な捉え方

愉快地に楽しく

校長 渡部 順一

何とかする

半世紀以上生きてきた私にも、当たり前ですが子供の時がありました。テレビでは、特撮やアニメが大好きでよく見ていたし、少年漫画雑誌なども多数読んでいました。

一休さん、宇宙戦艦ヤマト、それゆけ!レッドビッキーズ、仮面ライダーストロンガー、未来少年コナン、スラムダンク、天空の城ラピュタ、はじめの一步、海皇紀、ルパン三世…。数え上げたら、切りがないほどです。

登場人物が織りなす言動で、私は心をときめかせ、涙し、勇気をもらい、目標達成へのやる気を高め努力につなげてきたことは、少なくありません。そして、これらに共通していることを一つ挙げるとすれば、登場人物が大小様々な困難を何とかして乗り越えてきていることです。

これらの登場人物のようにではありませんが、子供たちには、できるかどうか分からないことや少し困難なことでも「**何**とかする」実行力と習慣を、身に付けてほしいと強く願っています。この実行力や習慣が身に付けば、人生の道が大きく開けること請け合いです。

願うだけではどうにもなりませんので、日々の授業を柱として、様々な教育活動で適切に「課題」を設定し、時には厳しく鍛え、時には大いに称賛し認めながら、子供たちにこの課題を解決する経験を多く積ませ、力をつけてまいります。

今月も、関係の皆様御支援、御協力をよろしくお願い致します。

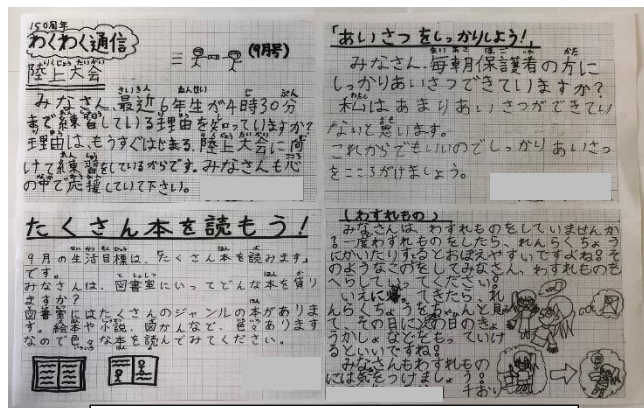


※ 陸上大会の練習も、時間をやり繰りし方法を重点化して、工夫して何とかやってきました。

【子供たちの目線で】

代表委員会児童が月1回定期的に発行しているのが、この「わくわく通信」です。その時の話題、気になること、がんばりたいことなど、子供たちの目線で考え、紙面に書き表しています。

私たち教職員の指導や支援にも、大いに参考になる内容です。次号の子供たちの、注目ポイントは何でしょうか？



【150周年わくわく通信9月号】